

本四高速グループは、ESG（環境・社会・ガバナンス）の観点から、世界が直面するさまざまな課題を考慮し、当社事業への社会からの期待に応えるため、特に重点的に取り組む5つのマテリアリティ（サステナビリティ重要課題）を特定しました。これにより、本四高速グループが取り組むべき課題を明確にし、これらの課題解決に取り組むことで、サステナビリティ経営の実現を目指します。

本四高速グループの5つのマテリアリティ

①環境への配慮「Green」

課題・取組

- ・CNに向けた事業運営（維持管理、SAPA運営等）
- ・循環型社会の形成
- ・環境に配慮した事業運営の推進



②インフラの強靱化「Resilience」

課題・取組

- ・強靱な200年橋梁の実現
- ・安全・安心・快適な高速道路サービスの提供
- ・長大橋技術を活かした社会貢献



③地域社会の共創「Regional Co-creation」

課題・取組

- ・瀬戸内地域への貢献
- ・瀬戸内地域の活性化に向けた取組



④多様性と包摂「Diversity, Equity & Inclusion (DEI)」

課題・取組

- ・本四高速道路のユニバーサルデザイン化の推進
- ・多様な人材の確保・活用
- ・人事制度等の充実と働き方改革の推進



⑤コーポレートガバナンス「Governance」

課題・取組

- ・情報開示の透明性確保
- ・コンプライアンスの徹底
- ・公正・適正な取引、税務
- ・リスクマネジメントの推進
- ・DXの推進



各マテリアリティに対する基本的な考え方

① 環境への配慮 **Green**

持続可能な地球環境の実現に資するために、気候変動対策を経営上の重要課題と捉え、環境に配慮した事業運営の推進を図るとともに、地域や企業等と連携した脱炭素に資する取組を進め、新たな技術開発へ挑戦します。また、環境意識の高い企業風土の醸成を図り、社員一人一人ができることから積極的に取り組みます。

② インフラの強靱化 **Resilience**

200年橋梁を実現するとともに、安全・安心・快適な通行を確保するために、重点的な取組として、長大橋の維持管理の高度化・効率化、災害対応力の強化、渋滞対策の高度化及び長大橋技術を活かした社会貢献に取り組みます。

③ 地域社会の共創 **Regional Co-creation**

美しい景観とたくさんの魅力に囲まれた瀬戸内地域の活性化や課題解決に貢献するために、多様なパートナーとの共同プロジェクトの企画・実施や地域で行われるイベントや環境保全活動への積極的な参加による瀬戸内地域の交流の促進に取り組みます。

④ 多様性と包摂 **Diversity, Equity & Inclusion (DEI)**

多様な個性が尊重される環境づくりを推進するために、SA・PA、本線上の標識・案内板など本四高速道路のユニバーサルデザイン化を推進するとともに、人的資本経営の視点に基づき人材成長・働きがいをもたらす職場環境を整備し、社会の活力向上につながる多様性に配慮した事業運営に取り組みます。

⑤ コーポレートガバナンス **Governance**

ステークホルダーの皆様に信頼される企業であり続けるために、コーポレートガバナンスの強化を重要課題の一つとして位置付け、経営の意思決定、業務遂行及び監督、グループの統制、情報開示などについて適正な体制を整備し、経営の健全性、効率性及び透明性の確保に取り組みます。